

【NEWS RELEASE】

2023年1月11日

各位

株式会社三井住友銀行
Allganize Japan 株式会社Allganize Japan との共同開発ソリューション「Alli for Green」提供開始について

株式会社三井住友銀行(頭取 CEO: 高島 誠、以下「三井住友銀行」と)、Allganize Japan 株式会社(代表取締役: 佐藤 康雄、以下「Allganize」)は、温室効果ガス(Greenhouse Gas、以下「GHG」)排出量算定におけるデータ収集を支援するソリューション「Alli for Green」(以下、「本ソリューション」)を共同で開発いたしました。本ソリューションは、GHG 排出量算定に不可欠な業務である膨大なデータ収集の効率化を実現するものです。脱炭素経営を支援するソリューションとして、三井住友銀行と Allganize で共同してお客さまに展開してまいります。

1. 本ソリューションの特長

本ソリューションは、お客さまが紙や PDF で受け取る請求書や報告書から、GHG 排出量算定に必要な情報を抽出し、データ化するソリューションです。Allganize が持つ優れた自然言語処理技術により、書類に記載されている文字の意味を理解したうえで情報抽出が行われるため、多種多様な非定型の書類であっても必要な情報を抽出することが可能となります。一般的な AI-OCR による抽出ソリューションと異なり、抽出範囲を事前設定する必要はなく、簡単に精度の高い抽出を実現できる点が強みです。

多数の拠点を有する企業にとって、エネルギー使用量、使用月等の大量のデータを GHG 排出量算定ツールに手作業で入力することは非常に大きな業務負担となっています。従来手作業で行っていた請求書情報のデータ化業務を自動化することで、目視による情報確認および転記に伴う工数を大幅に削減することが可能となります。

また、抽出したデータを GHG 排出量算定ツールに連携し易くするソリューションも共同で開発いたしました。排出量算定ツールが指定するデータアップロード用のテンプレートに自動でフォーマット変換するソリューションであり、データ整備の省力化を図ることが可能となります。

なお、三井住友銀行でも本ソリューションの利用を検討し、SMBC グループにおける GHG 排出量の算定業務の効率化を図る予定です。

2. 本ソリューション提供の背景

三井住友銀行では、これまでも脱炭素経営の支援を目的に、デジタルを活用したソリューションを提供しており、今後も脱炭素社会実現のため幅広くお客さまをサポートしていきたいと考えております。本ソリューションにより GHG 排出量算定業務の効率化を図ることで、お客さまが本来注力すべき戦略策定や削減施策に時間を割くことができ、より一層脱炭素社会の実現を加速させることが出来ると考えております。



【ご参考】各社の概要

Allganize について

Allganize は、「AI によって全てのビジネスのワークフローを自動化・最適化する」というビジョンのもと、高レベルの自然言語理解とディープラーニング技術をベースに、日本、米国、韓国を中心に、グローバルで企業向けの AI ソリューションを提供しています。2017 年 7 月に、グローバルマーケットでの事業経験豊富なメンバーによって創業された Allganize は、国内外の投資家に支えられ、東京（日本）、オークランド及びヒューストン（米国）、ソウル（韓国）に拠点を構えサービスを展開しています。

三井住友銀行について

三井住友銀行含む SMBC グループは、2030 年までに SMBC グループ自身が排出する GHG をネットゼロとすることに加え、2050 年までに投融資ポートフォリオ全体の GHG 排出量をネットゼロとすることにコミットしています。また、「SMBC Group GREEN Innovator」を掲げ、お客さまの脱炭素社会への移行と社会全体のサステナビリティの実現に向けた課題に対しても、国内有数の営業基盤、戦略実現のスピード、質の高い金融サービス提案力を結集し、真摯に取り組んでまいります。

以 上